

季刊

第35号
winter

青葉の森から



みんなのギャラリー

2015年1月6日発行



おがわ
絵：小川さくらちゃん

表紙を描いてくれた小川さくらさんは、いつも森に遊びにきてくれるキュートなお嬢さん。彼女の目には雪の結晶がこんなカタチに見えてるんですね。とっても新鮮で面白いです。思わず雪だるまも笑顔になっちゃう。

森は今、春を待つ準備の季節。生き物たちは、春という舞台を飾るために雪の下や北風のなかで準備に余念がありません。みなさんは感じますか？マンサクの花芽がワクワクしているのを。硬いイヌブナの冬芽の内側が火照り出しているのを。静かだからこそ感じられる森の息吹を探しに、ばっちり防寒対策をして青葉の森へ遊びにきて下さい。(千)

それって本当？



マルバアオダモの花(5月)



マルバアオダモの冬芽(12月)

私たち青葉の森のレンジャーの仕事は、ガイドだけではなく草刈りや倒木処理など園内の維持管理も行っています。12月にも折れると危険なマルバアオダモの枝を見つけたので、切り取りました。

“アオダモの名の由来は枝を切って水につけると水が青(ブルー)になるから”と図鑑で読んだことを思い出し、「これはマルバアオダモだけれど同じように水を青くする成分を含んでいるのだろうか?」と思ったので、実験してみることにしました。

まず、インターネットで調べてみると、アオダモの枝で実験をしたという方の記事を見ました。その記事によると、枝を切って水につけると水が青くなると言われていますが、正確にはアオダモの樹皮から出た成分が解けている水に紫外線を当てると青い蛍光を発するというものでした。

はたして、マルバアオダモにも同じ成分が含まれているのでしょうか。

実験1

- ① 皮を剥がして水道水につける
- ② 切った枝をそのまま水道水につける
- ③ 樹皮を剥がした枝を水道水につける

そして、①、②、③の各々を水道水につけてしばらくおいてから、目で見えてわかる変化が起こるのかどうかを観察する



結果・・・①は時間の経過とともに黄緑色っぽく変化した。②は目で分かるような変化はほとんどなかった。③は黄色っぽく濁った。

実験2

- ①、②、③とただの水を入れた各々のビンに、ブラックライトの光(紫外線)を当ててみる

結果・・・下の写真のように、ただの水とは違い、①、②、③全てがブラックライトの光を当てると青い蛍光色を発した。



うわっ!青く光っている!!
きれいだなあ☆

感想

今回の実験結果は感動的でした。図鑑やインターネットに書いてあることをただ鵜呑みにするのではなく、自分の目で見てこそ実感を得ることができ、感動したり、新たな発見や疑問も生まれるということを改めて感じました。

また、図鑑やネットなどから得られる生きものの情報に限らず、全てのことにおいて自分の感覚で物事を確かめることは大事だと思います。情報に踊らされず、自分の感覚をしっかりとって生きていきたいなあ。(佐)



カタクリ復興作戦始動！



カタクリ早く
見たいなあ

青葉の森には「カタクリのみち」と名づけられた散策路があります。
そこは管理センターから「疎林広場」に向かうミズナラやコナラの林を通るルートで、辺りは毎年 4 月になると待ち望んでいた春への気持ちを満たしてくれるかのようにカタクリの花が咲く私の大好きな道です。

カタクリは、手入れの行き届いた日当りの良い明るい林が好きな植物です。

ところがこの頃はササなどが茂って陽射しを遮るようになり、カタクリを始めとした雑木林の林床植物の生育環境が悪化してきています。



みち沿いの地表を覆うササ

手伝おうか？



枯れた木を伐って片付けます

そこで、平成 24 年の 12 月から「カタクリのみち」の周りを雑木林の林床植物復興エリアとして、手入れをすることにしました。

時期は木々が葉を落として植物たちが眠りについている冬。作業は日照を妨げているササなどを刈り、枯れた木や落ちた枯れ枝を片づけることから始めました。

へ～



また、手入れをしたところとしなかったところでカタクリの生育状況がどのくらい違うのかを知るために、道を挟んだ両側に 1m 四方に印をつけた調査ポイントを各々 20ヶ所ずつ設置して、株の数の変化を追跡観察することにしました。「カタクリのみち」で赤く塗られた四角い杭が目につくところが追跡観察ポイントです。

観察ポイントの目印の杭



早く春が来ないかな



平成 27 年には地下鉄東西線が開通し、青葉の森中央入口まで徒歩 10 分ほどの所に青葉山駅ができる予定になっています。

全国的にも珍しい地下鉄に乗って出かけられる自然豊かな森林公園として、桜の名所とはまた違うお花見の場所として市民の皆さんに喜んでいただけるようにできれば嬉しいです。



春の陽射しに開花するカタクリ

まだ始めたばかりの試みですが、林床植物の復興を夢見ながら、この冬も「カタクリのみち」沿いの手入れを続けています。(半)



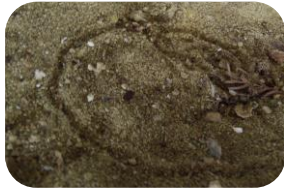
アリジゴクはつらいよ!



青葉の森で大人気の生きもの「アリジゴク」。
冬の間はどうしているのでしょうか？
アリジゴクの楽園の管理センターの床下をのぞいてみました。
夏の時期にはとても目立ったすり鉢状の巣が見当たりません。
どこかに行ってしまったのかな？



アリジゴクの巣は見当たらなかったけど、タヌキや鳥の足跡があったよ！



よく見ると、移動した跡を発見！
これかな？というくぼみがあったので掘ってみました。
いました！でもピクリとも動きません。
死んでしまったのでしょうか？
大丈夫、心配ありませんよ。アリジゴクは冬の間は休眠（きゅうみん）しているのです。
冬の間は食べ物の虫がいないので、眠って過ごすのですね！

10月を過ぎてから、飼っているアリジゴクが餌を食べなくなった、巣を作らない、というお問い合わせが複数寄せられました。

まだ休眠する時期ではないのになと思っていたら、小さな砂ダンゴが出現していたと報告がありました。それは、さなぎが入っているアリジゴクのまゆです。さなぎになるから餌を食べなくなったのでした。通常では、栄養状態により3年前後かけて成長し、梅雨時にさなぎから成虫になるのですが…。いつ獲物にありつけるかわからないため、飢えに強く3ヶ月間くらい食べなくても平気なようです。飼われていて餌をたくさんもらって成長が早まり、来年まで待てなかったのかな？不思議ですね！アリジゴクは成虫になるまでに2回くらい冬を越します。眠ってやり過ごすのも厳しいのでしょうか。冬を無事に乗り越え、元気な姿を見せてくれるといいですね！（新）

青葉の森 頁版

園内を気持ちよく利用していただくために、青葉の森では様々な取り組みをしています。今回は秋から冬にかけて行った作業をお知らせします。

三居沢のマップポストを更新。
「こもれび広場」にも新設しました。

管理センターの案内看板を玄関前に設置しました。



園内マップの更新に合わせて、散策路分岐点に設置していた現在地を示す看板を更新しました。

わかりづらかった中央入口に看板を設置しました。



「チゴユリのみち」入口に案内看板を新設しました。



青葉の森駐車場の生垣をスッキリ剪定しました。



大切なお知らせ

- ①危険木の伐採作業が始まります
散策路に倒れる危険のある枯れた木を伐採します。（1月～2月の予定）
- ②「せせらぎ広場」の斜面修復工事が始まります
平成26年6月の大雨で崩壊した斜面の修復工事に伴い、1月14日から周辺の散策路が通行止めになります。（～2月下旬の予定）



秋のイベント活動写真

音もメロディーもつくっちゃおう!「あおばの森のおんがくかい」(森の音を感じ、自然素材で楽器をつくって演奏しました。)



親子でおさんぽ「あきいろの森」(様々なアイテムを使って普段とは違う視点で紅葉を楽しみました。)



もみの木の森でクリスマスパーティー(もみの木の前でごちそうをつくらったりクリスマスソングを歌いました。)



今後のイベントのお知らせ

定例イベント

親子でワクワク「森とあそぼう♪」

毎月第3土曜日(1/17、2/21、3/21)

対象/小学生以下の子どもと保護者15名(先着)

親子で自然に親しみます。詳しくは市政だよりをご覧ください。

もうすぐお彼岸「けずり花をつくってみよう!」

日時:2月14日(土) 午前10時~午後2時

内容:仙台市の伝統工芸であるけずり花を作ります。

対象:一般15名(先着)

持ち物:昼食、軍手、作業のしやすい格好

森を体感「セリバオウレンを見に行こう!」

日時:3月28日(土) 午前10時~12時

内容:セリバオウレンのお花畑にお出かけします。

対象:一般20名(先着)

持ち物:雨具、飲み物、寒くなく歩きやすい服装

団体利用のご案内

青葉の森のレンジャーが四季折々の自然をご案内します。少人数からお引き受けいたしますので、お友だち同士、サークル、地域のイベント等でご利用ください。

ご要望に応じて活動の内容は準備させていただきます。料金は無料です。お申込の際には参加される方々の年齢、人数等をお伝え下さい。

また、生活科、総合的な学習の時間などの自然体験学習に関する授業作りのご依頼も承っておりますので、お気軽にお問い合わせください。

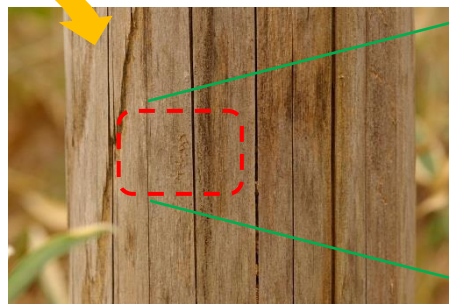
【青葉の森管理センター ☎022-263-2101】

これってなんだべ!?

散策路の道標に針で刺したような小さい穴がたくさんあいているのを見つけたよ (写真①②③)。「子供のいたずら?」「妖精が遊んだ跡?」

この穴を初めて見つけたときは、本当に「これってナニ? Σ(°ェ°Ⅲ)」と思いました。

最初に頭に浮かんだのは、“子供のいたずら?” だれかが名札の針を刺した跡ではないかと思ったのです。…でも、それにしては規則正しく並んでいるし穴の数も多い。しかも、他の道標にもありました! (写真④)



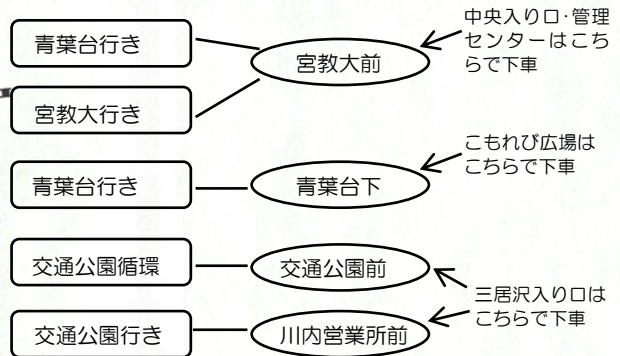
いろいろ調べたけど、まだ正解はわかっていません。でも、何となく昆虫が卵を産んだ跡だと感じました。もしもそうなら、この穴の中には卵があるはず。試しにひとつ削ってみたところ、…ありました! 白く細長い卵と思われるものが (すみません! 画像がありません(>_<))。硬い木に卵を産むことのできる昆虫って何かな? セミかな? バッタかな? それともカミキリムシ? (だれかわかる方がいたら、ぜひ教えて下さい。)

静かな冬の森も目をこらせば不思議がたくさん! みなさんも森の秘密を見つけて、そっと教えて下さいね。(千)

青葉の森緑地 アクセス



市営バス 仙台駅西口ターミナル



青葉の森 管理センター 開館時間：9：00～16：30
 休館日：毎週月曜日（祝日の場合は翌日）年末年始（12月28日～1月4日）
 発行：（公財）仙台市公園緑地協会 企画・編集：仙台市青葉の森緑地 管理センター
 〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉260 Tel:022-263-2101 Fax:022-263-2102
 ホームページ：<http://www.sendai-park.or.jp/web/info/aobanomori/>
 ブログ：<http://blog.livedoor.jp/skrk2-aobanomori/>